

# 法華宗信報



大本山本駄寺本堂 日蓮聖人像



大本山鷲山寺本堂 日蓮聖人像

信心の  
かけ橋

## 法華宗信報 169号 目次

- 2~3 お題目を未来へ
- 法華宗管長 大本山本駄寺貫首 桐井日英現下
- 4~5 大本山本駄寺 宗祖日蓮大聖人御生誕800年記念大法要、御開山堂落慶法要
- 6~7 大本山鷲山寺 高祖日蓮大菩薩御生誕800年、開創750年御開大法要
- 8 戸守について  
編集後記



# お題目を未来へ



その後のご生涯は古来より大難四重度、小難十重度、その数を認められず」と云ふるほど厄難に満ちたのであります。その大聖人の御生涯は、必ずしも慈悲と勇氣とが並んでいたのであります。本法要は本來でしたら令和初年に奉修される予定でございましたが、この年は同様の厄難に見舞われました。

法華宗管長  
大本山本龍寺貫首

桃井 日英



の絶えない時代  
でありました。

A close-up photograph of a single lit candle with a bright orange flame. The candle is held in a simple red holder. In the background, there are dark, out-of-focus shapes that appear to be foliage or branches.

に移し、一器の水を一器に移す。

本一回に南無妙法蓮華經と唱えん事は大  
地を的とするなるべし

お説きになつておられま

きる私達が「未来」のため、お題目を唱え歌を

でいかなければならぬのです。

唱えいただければと存じます。

卷之三





令和四年六月四日・五日、大本山本能寺にて、二日間にわたり、コロナウイルス蔓延の為延期されていた宗祖日蓮大聖人御生誕800年記念大法要が執り行われました。

四日午後二時より本能寺日美琴下大導師のもと宗祖誕誕奉事奉修大聖人御生誕800年記念法要、御開山堂落慶法要が奉修されました。御座席された光長寺日鳳親下、鷺山寺日賢親下、本興寺日逸親下、宗総教長金井幸廣下をはじめ多くの尊侶が出席され、また御開山堂の多き御供が奉出仕され、本尊御開山堂の手々の手を合わせての奉は請々しく、喜びの表情を浮かべられていました。続いて日蓮聖徒の方々の手を合わせての奉は請々しく、喜びの表情を浮かべられていました。

翌五日は、午前十時より本能寺加瀬安日陽上人大導師のもと、干部大法要・宗祖日蓮大聖人御生誕800年記念法要が加入式開宴され、大法要も無事開宴出来たことに感謝と安堵の言葉を述べられた信達僧が、出仕せられた御供が奉出仕され、供養されました。また法要中は、久しぶりに学林生の給仕する活気ある姿が見られました。

最後に日英親下大導師のもと、国懇会・結願法要が奉修され、僧俗一体となって世界平和の祈りが捧げられ、御親教にて日美琴下は、大法要を無事開宴出来たことに感謝と安堵の言葉を述べられました。法要終了後、御開山堂にて一座法要言上が成され、無事大法要が終修されたことが報告されました。

コロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻など世界が混沌をもぎ出す中、本門八品の御題目が唱えられたことはとても意義深く感じられました。



令和四年六月十一日大本山鷲山寺にて、高祖日蓮大菩薩御生誕八〇〇年・開創七五〇年慶讃大法要が執り行われました。大本山鷲山寺では昭和二十九年に四度目の火災に遭いましたが、現代の先聖先師・門末檀僧徒の篤い御信心をもって令和二年、山上に御廟の本堂再建を果たされました。午前十時より山門(仁門)から鷲山寺山門(仁門)へ向かう参道で、日賢院下を唱題されながら、出仕の檀信方が列をなし山上の本堂へと入堂し、日賢院下を唱題されながら境内整備奉事者及び放生供奉業法要が光長寺日鳳院下大導師のもと奉修され、続いて世界平和祈願が本興寺日鳳院下大導師のもと奉修されました。

午前十時三十分より度山門から唱題しながら日賢院下を中心て入堂し、御生誕八〇〇年・開創七五〇年・稚兒練供業法要が奉修されました。この法要では、日鳳院下・日透院下・金井孝顯台下・本興寺御使僧泰信泰悟執事長が御縁起され、全国各より多くの檀信方も出仕され奉修されました。又、多くの檀信者がお焼香をされている姿は、皆様喜びに溢れているようでした。

午後一時三十分より斎戒者・自然御縁起御座業法要が鷲山寺御園閣十二歳上のものと奉修され、続いて鷲山寺御園閣十二歳上のものと奉修され、この日の法要が終りくわへました。最後に日賢院下より日蓮聖人の御法難についての御説教を賜り、その中で日明白までの法燈相続への感謝が述べられていました。また普段はお目にかけられない宗祖御尊像と開山日弁大正師像の御開帳があり、参拜者はありがなく拝拝していました。参拜者は、皆様喜びに溢れているコロナウイルス蔓延の為、一年延期になりましたが無事に全て法事を奉修された事に皆様感謝されていました。

## とうぶり 【戸守について】

田んぼの稲穂が黄金色に輝く10月～11月頃、各地の法華宗寺院では宗祖日蓮大聖人の御命日法要である「御会式」が執り行われます。お寺によつてもちろん様々ですが、御会式には「御会式桜」「餅」「清酒」「お米」「綿帽子」など沢山のお供え物が供えられ、私たちは僧俗一体となって本門八品のお題目を遺して下さった宗祖の御遺徳を偲び、御報恩のお題目を異体同心にお唱えして更なる信心増進を願っています。

その御会式が済むと、今度は年末年始に向かって様々な準備が始まります。岡山県備前・備中地域では、昔から12月になると「戸守経」というお参りがあります。「とんぶり」や「とまもり」とも言うようですが、概ね「とうぶり」と言っています。これは年末に「戸守札」というお札を持って檀家さんのお宅へ行き、床の間などで法華経を読み、お題目を唱えて家内安全と新年の安泰をお祈りするものです。「とうぶりをもらえば正月が来る」と言われる所もあるようです。

薄い木の経木に版本を用いて刷ってこの戸守札を作ったり、紙に印刷した物を使ったりするお寺もあり、その内容も多少は異なりますが、簡略された御本尊が書かれたお札・年神さま・水神さまなどだいたい3～4枚で、拝んだこのお札を魔除けや火除けのために玄関、仏壇や台所などに貼ったり、置いたりしてもらいます。

その年の1年間檀家さんにお世話になったことのご挨拶も兼ねて、戸守経では1～2週間のお参りをしますが、まさに「師走」といった年末の行事でしょうか。私たち寺の住職もこの戸守経に回ることで1年の締めくくりを感じます。

これから寒さもだんだん厳しくなっていきますので、皆様お身体にはお気をつけになって、少し(だいぶ)早いですがどうぞ良い新年をお迎え下さい。

参考資料：『岡山県の正月行事』



## 編集後記

今年もお会式の時期がま  
いりました。私たち法華宗

にとって大切な法要の一つ  
がお会式法要です。宗祖日  
蓮大聖人が御入滅されて七  
四一回目のご命日をお迎え

します。日蓮聖人の忍辱弘  
通の生涯を偲び、報恩感  
謝のお題目をお唱えしま  
しょう。

今号では、大本山鷺山寺  
様・大本山本願寺様にて奉  
修されました記念大法要を  
紹介させていただきまし  
た。鷺山寺様では華やかな  
稚兒練り供養があり、本願  
寺様では一生懸命に給仕を

する学生生の姿を拝見しま  
した。コロナ禍でこの数年  
見ることが無かつたことに  
気づき、一日も早いコロナ  
収束を願うばかりです。

最後になりましたが、今  
号の発行に際しまして、原  
稿執筆を賜りました桃井日  
英児並びに大法要の取材  
にご快諾・ご協力いただき  
ました大本山鷺山寺様・大  
本山本願寺様には、心より  
感謝申し上げます。

法華宗信報

NO.169

令和4年10月1日発行 発行人／金井孝彦 編集人／圓成昭龍  
編集部／〒701-4302 岡山県瀬戸市牛窓町牛窓3194 本蓮寺内

TEL0869-34-2014

発行所／〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-19-1 法華宗宗務院  
TEL03-5614-3055 http://www.hokkeshu.or.jp/

印刷所／(株)創文社

